

### 3. 教職課程履修の手引き

教育職員免許状を取得するには、下表の資格と単位の修得を要する。(27～34ページの履修表3～6を参照)

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数		
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の称号を有すること	20単位 (履修表3)	32単位 (履修表4)	8単位 (履修表3・4・5)
高等学校教諭一種免許状		20単位 (履修表3)	24単位 (履修表4)	16単位 (履修表3・4・5)

1. 教職課程の履修を希望する者は、4月に行われる2年次・3年次・4年次のガイダンスに必ず出席すること。
2. 「教科に関する科目」について(27～31ページの履修表3を参照)
  - 1) 「教科に関する科目」は全て卒業要件算入科目である。
  - 2) 履修表3において、希望教科を確認のうえ、必修及び選択必修科目に十分注意して修得すること。
3. 「教職に関する科目」について(32ページの履修表4を参照)
  - 1) 「教職に関する科目」は、全て卒業要件外科目である。
  - 2) 履修表4において、必修及び選択必修科目に十分注意して修得すること。
  - 3) 「教職に関する科目」には、人文学部における特別選択科目の「教職関係科目」(9ページ(5)-3および24ページを参照)として開講されるものと、全学教育機構で開講されるものがあるので注意すること。
4. 「教科又は教職に関する科目」の単位について(33ページの履修表5を参照)

「教科に関する科目」および「教職に関する科目」の必要単位数を超えて修得することによる超過分の単位と、共通教育で開講される授業科目の単位である。ただし本学部では、中学校教諭一種免許状を取得希望する者に、必修である「介護等体験の意義と実際」1単位のみを「教科又は教職に関する科目」として修得し、残りの7単位は「教科に関する科目」の履修を推奨する。また、高等学校教諭一種免許状を取得希望する者に「教科に関する科目」の履修を推奨する。

<推奨例> 中学・高校両方の免許を取得しようとする場合、「教科に関する科目」20単位に「教科又は教職に関する科目」16単位を加えた36単位以上を履修表3にある「教科に関する科目」から修得し、さらに「教科又は教職に関する科目」の必修科目である「介護等体験の意義と実際」を修得するのが望ましい。

#### 5. 教育実習の履修要件

3年次終了までに「教職に関する科目」のうち、「教職論」「教育学概論」「自分の希望する教科の指導法」を含む計7科目以上の単位、および「教科に関する科目」で3年次までに履修できる科目のうち2分の1以上の単位を修得し、さらに、教育実習に先だって行われる「教育実習事前指導」を受けていなければならない。ただし、3年次編入学生の「教科に関する科目」の単位修得については、この限りではない。

#### 6. その他の教職関係科目(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)の履修について

履修表3, 4, 5にしたがって「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」の単位を修得することに加え、共通教育科目と人文学部の特別選択科目(教職関係科目)から次の4科目を履修し、単位を修得しなければならない(33～34ページの履修表6を参照)。なお、これらのうち「情報機器の操作」は卒業要件外科目、他は卒業要件算入科目である。

- ・日本国憲法 2単位
- ・外国語コミュニケーション 2単位
- ・体育 2単位
- ・情報機器の操作 2単位

## 履修表 3 教科に関する科目

社会コース（中学校教諭一種免許状 社会）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数
		授業科目	単位数		
社会	日本史及び 外国史	日本史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本史概論Ⅱ必修	2
		日本史特論Ⅰ～Ⅶ	各2		
		日本史基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		日本史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		東洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	東洋史概論Ⅱ必修	2
		東洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
		東洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		東洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		西洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	西洋史概論Ⅰ必修	2
		西洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
		西洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		西洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
	地理学 (地誌を含む)	人文地理学	2	必修	2
自然地理学		2	必修	2	
地誌・地域研究		2	必修	2	
「法律学, 政治学」	法律学	4	法律学,政治学いずれか選択必修	4	
	政治学	4			
「社会学, 経済学」	社会学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	社会学概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	
	経済学	4			
	社会学特論Ⅰ	2			
	社会学発展演習Ⅰ	2			
	社会調査実習Ⅰ～Ⅱ	各2			
「哲学,倫理 学,宗教学」	哲学・思想論概論Ⅰ～Ⅱ	各2	哲学・思想論概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	
必修及び選択必修科目 計(a)					20
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					7
合計 (a+b)					27

※ 中学校教諭一種免許状(社会)に必要な「教科に関する科目 20単位」,「教科又は教職に関する科目 8単位」を修得する場合,各教科の一覧表にある必要最低単位数27単位と履修表5「介護等体験の意義と実際 1単位」の合計28単位が必要となる。

## 履修表 3 教科に関する科目

地理歴史コース（高等学校教諭一種免許状 地理歴史）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数
		授業科目	単位数		
地理 歴史	日本史	日本史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本史概論Ⅱ必修	2
		日本史特論Ⅰ～Ⅶ	各2		
		日本史基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		日本史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
	外国史	東洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	東洋史概論Ⅱ必修	2
		東洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
		東洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		東洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		西洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	西洋史概論Ⅰ必修	2
		西洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
西洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ		各2			
西洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ		各2			
人文地理学及 び自然地理学	人文地理学	2	必修	2	
	自然地理学	2	必修	2	
地誌	地誌・地域研究	2	必修	2	
必修及び選択必修科目 計(a)					12
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					24
合計 (a+b)					36

## 履修表 3 教科に関する科目

公民コース（高等学校教諭一種免許状 公民）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数
		授業科目	単位数		
公民	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治学を含む。)」	法学	4	法学, 政治学いずれか選択必修	4
		政治学	4		
	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論 I ~ II	各2	社会学概論 I, IIいずれか選択必修	2
経済学		4			
社会学特論 I		2			
社会学発展演習 I		2			
社会調査実習 I ~ II		各2			
「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲学・思想論概論 I ~ II	各2	哲学・思想論概論 I, IIいずれか選択必修	2	
	哲学・思想論基幹演習 I ~ XI	各2			
	哲学・思想論特論 I ~ XV	各2	心理学概論 I, IIいずれか選択必修	2	
	哲学・思想論発展演習 I ~ XII	各2			
	心理学概論 I ~ II	各2			
	心理学特論 III	2			
	心理学基礎実験 I ~ II	各2			
	心理学特殊実験 I	各2			
	社会心理学基礎実験 I ~ II	各2			
社会心理学特殊実験 I	2				
必修及び選択必修科目 計(a)					10
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					26
合計 (a+b)					36

履修表 3 教科に関する科目

国語コース（中学校教諭一種免許状 国語, 高等学校教諭一種免許状 国語）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数	
		授業科目	単位数		中学	高校
国語	国語学 (音声言語及び 文章表現に関 するものを含 む。)	日本語学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本語学概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修 日本語史Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修 ※「国語学」から選択必修合わせて 6単位以上修得すること	2	2
		日本語史Ⅰ～Ⅱ	各2		2	2
		日本語学特論Ⅰ～Ⅳ	各2			
		日本語学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語教育学概論Ⅰ～Ⅱ	各2			
		日本語教育学特論Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語教育学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語教育実習	2			
		日本語教育学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
国文学 (国文学史を含 む。)		日本文学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本文学概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修 日本文学史Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修 ※「国文学」から選択必修合わせて 6単位以上修得すること	2	2
		日本文学史Ⅰ～Ⅱ	各2		2	2
		日本文学特論Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本文学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本文学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
漢文学		漢文学要説	2	必修	2	2
書道(書写を中 心とする。)		書道芸術Ⅰ～Ⅱ	各2	書道芸術Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	
必修及び選択必修科目 計(a)					12	10
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					15	26
合計 (a+b)					27	36

※ 書道芸術Ⅰ,Ⅱは中学校教諭一種免許状取得希望者のみ単位として認定(高等学校では算入されない)

※ 中学校教諭一種免許状(国語)に必要な「教科に関する科目 20単位」,「教科又は教職に関する科目 8単位」を修得する場合,各教科の一覧表にある必要最低単位数27単位と履修表5「介護等体験の意義と実際 1単位」の合計28単位が必要となる。

履修表 3 教科に関する科目

英語コース（中学校教諭一種免許状 英語、高等学校教諭一種免許状 英語）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数	
		授業科目	単位数		中学	高校
英語	英語学	英語学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	英語学概論Ⅰ,Ⅱ, 英語史Ⅰ,Ⅱ から1科目選択必修	2	2
		英語史Ⅰ～Ⅱ	各2			
		英語学特論Ⅰ～Ⅵ	各2			
		英語学基幹演習Ⅰ～Ⅸ	各2			
		英語学発展演習Ⅰ～Ⅶ	各2			
英米文学	英米文学	英米文学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	英米文学概論Ⅰ,Ⅱからいずれか選択必修	2	2
		英米文学特論Ⅰ～Ⅻ	各2			
		英文学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		英文学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション初級Ⅰ～Ⅱ	各1	英語コミュニケーション初級Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	1	1
		英語コミュニケーション中級Ⅰ～Ⅱ	各1	英語コミュニケーション中級Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	1	1
		英語コミュニケーション上級Ⅰ～Ⅱ	各1	英語コミュニケーション上級Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	1	1
		英語ライティングⅠ～Ⅱ	各1			
異文化理解	異文化理解	異文化間コミュニケーション論Ⅰ～Ⅱ	各2	異文化間コミュニケーション論Ⅰ,Ⅱ, 英米 文化事情Ⅰ,Ⅱから1科目選択必修	2	2
		英米文化事情Ⅰ～Ⅱ	各2			
必修及び選択必修科目 計(a)					9	9
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					18	27
合計 (a+b)					27	36

※ 中学校教諭一種免許状(英語)に必要な「教科に関する科目 20単位」,「教科又は教職に関する科目 8単位」を修得する場合,各教科の一覧表にある必要最低単位数27単位と履修表5「介護等体験の意義と実際 1単位」の合計28単位が必要となる。

履修表 4 教職に関する科目

全コース共通

免許法施行規則に定める 区分・科目等			左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数		履修 年次
区分	科目	必要 単位数	授業科目	単位数		中学	高校	
第2欄	教職の意義等 に関する科目	2	教職論	2	必修	2	2	1～4
第3欄	教育の基礎 理論に関する 科目	6	教育の思想と歴史	2	必修	2	2	1～4
			学校教育の歴史と現状	1				1～4
			教育学概論	2				1～4
			発達と教育	2				1～4
			障害の理解と支援	2	1科目選択必修	2	2	1～4
			発達心理学概論	1				1～4
			教育法学概論	2				1～4
			教育経営学概論	2				1～4
			教育行政学概論	2				1～4
教育社会学概論	2	1～4						
第4欄	教育課程及び 指導法に関する 科目	中12 高6	教育課程の編成法	1	必修	1	1	1～4
			国語科指導法Ⅰ～Ⅱ	各2	希望教科の指導法・ 指導法特論を履修 する。  (中学免許希望者) 指導法Ⅰ,Ⅱ及び指導 法特論Ⅰ,Ⅱ必修  (高校免許希望者) 指導法Ⅰ,Ⅱ必修(注1)	8	4	2～4
			国語科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2				2～4
			社会科・地理歴史科指導法	2				2～4
			社会科・公民科指導法	2				2～4
			社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2				2～4
			社会科・公民科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2				2～4
			英語科指導法Ⅰ～Ⅱ	各2				2～4
			英語科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2				2～4
			道德教育の理論と実践	2	中学免許希望者のみ必修	2	—	2～4
			特別活動の理論と実践	1	必修	1	1	2～4
	教育方法論	1	必修	1	1	2～4		
	学校教育と情報	2				1～4		
	教育方法特論	1				2～4		
	生徒指導, 教育 相談及び進路 指導等に関する 科目	4	生徒指導・進路指導の理論と実践	2	必修	2	2	2～4
			キャリア教育の理論と実践	2				1～4
教育相談の理論と実践			2	必修	2	2	1～4	
教育相談特論			2				1～4	
第5欄	教育実習	中5 高3	教育実習事前・事後指導	1	必修	1	1	4
			中等基礎教育実習	4	中学免許希望者のみ必修	4	—	4
			高等学校教育実習	2	高校免許希望者のみ必修	—	2	4
第6欄	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	必修	2	2	4
必修及び選択必修科目 計(a)						32	24	/
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)						0	0	
合計 (a+b)						32	24	

※ 指導法, 教育実習, 教職実践演習以外の科目は, 全学教育機構で開講する科目を履修する。

※ 上記は全て卒業要件外科目である。

注1: 中学社会, 高校地理歴史, 高校公民を希望する者は, 履修について学務係で確認すること。

## 履修表 5 教科又は教職に関する科目

全コース共通

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	履修方法	必要最低単位数		履修年次
				中学	高校	
教科又は教職に関する科目	介護等体験の意義と実際	1	中学免許希望者のみ必修	1	—	2～3
	現代社会と子どもの学習	2				1～4
	ノーマライゼーションとバリアフリー	2				1～4
	コミュニケーションの障害と学習	2				1～4
必修及び選択必修科目 計(a)				1	0	/
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)				0	0	
合計 (a+b)				1	0	

※「教職に関する科目」と「教科に関する科目」については、それぞれの最低修得単位数を超えて修得した単位を「教科又は教職に関する科目」に算入することができる。

※ 上記の授業科目は「教職に関する科目」あるいは「教科に関する科目」に算入することはできない。

## 履修表 6 その他の教職関係科目(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

全コース共通

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学の授業科目			
科目	必要単位数	授業科目	単位数	履修方法	必要最低単位数
日本国憲法	2	日本国憲法(教養科目)	2	必修	2
体育	2	健康科学・理論と実践(健康科学科目)	1	必修	1
		体育・スポーツ群(教養科目) バレーボール, テニス, ソフトボール, ゴルフ, バドミントン, サッカー, 弓道, コーディネーションエクササイズ, トレッキング, サバイバル活動, スクーバダイビング, スポーツフィッシング, バスケットボール, スポーツボウリング, ネイチャースキー, レジャースポーツ, アウトドアの達人, スノー・スポーツ, ニュースポーツ, 信大マラソン, マリンスポーツ, アスレティックトレーニング, 剣道形の世界, アダプテッドスポーツ, フライングディスク	各1	1単位を選択必修	1
外国語コミュニケーション	2	英語(外国語科目)			
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ	1	必修	1
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ	1	必修	1
情報機器の操作	2	教職のための情報・メディア活用(注1)	2	必修	2
合計					8

※「教職のための情報・メディア活用」以外の科目は、全学教育機構で開講する科目を履修する。

注1:「情報機器の操作」の科目については,独立行政法人「情報処理推進機構」認定の情報処理技術者試験の  
国家資格取得者(例:「ITパスポート試験」,「基本情報技術者試験」などの合格者)は,下記により単位の  
認定を受けることができる。

対照資格	独立行政法人「情報処理推進機構」認定の情報処理技術者試験の国家資格
申請方法	随時,合格証書原本を添えて,申請書を人文学部学務係へ提出する。 原本はコピーし,その場で返却する。 なお,4年次は12月25日(休日に当たるときは翌日)までに提出すること。
認定単位	特別選択科目のうちの「教職のための情報・メディア活用」の2単位
備 考	・単位認定は申告制とする。 ・申請時に単位を修得済みの場合は,単位認定を行わない。